

第3学年1組 国語科書写学習指導案

平成19年11月20日(火) 第3校時

場所 第2学習室

1 単元名 平がなの筆使いを知ろう(一)

2 単元の目標

- ・平仮名の筆使いの特徴に気づき、進んで書こうとする。(国語への関心・意欲・態度)
- ・平仮名の筆使いに気をつけて書くことができる。(言語についての知識・理解・技能)
- ・文字の大きさや中心に気をつけて、文章を書くことができる。

(言語についての知識・理解・技能)

3 単元について

本単元では、毛筆で初めて平仮名を扱う。前半の毛筆題材で、漢字と比較しながら平仮名の筆使いの特徴を理解するものである。漢字の硬さに対して、平仮名の柔らかさ、丸みなどに気づき、始筆の入り方や筆使いの違いでそれらを表現できるようにする。また、筆脈にも注目することで、平仮名特有の丸みの特徴をとらえることができる。

後半の硬筆題材では、文字の大きさや中心に気を付けて書く学習をする。文字の大きさは、漢字に比べて平仮名を少し小さく書き、文字の中心を行の中心にそろえて書くことで、読みやすく整った配列になることを理解する。

4 児童について

男子9名 女子8名 計17名

書写の授業は、4月より、担任が教室で、少人数指導が学習室で、児童の半数ずつを指導している。用具の使い方や硬筆の学習では、TT指導を行ってきた。

3年生になって毛筆による書写学習が始まり、児童の興味・関心はとても高いものである。最初の時間には、新しい用具を大事そうに扱い、筆の穂の自在さに驚きながら楽しそうに書く姿が見られた。これまでの毛筆学習で、「横画」「縦画」「はね」「はらい」「点」「おれ」「曲がり」の筆使いを次々と練習してきた。筆の動かし方はイメージできても、実際に筆で書いてみると、なかなか難しく、十分に習得できるところまでは至っていない。技術的には個人差があるが、硬筆と違って大ききくのびのびと書けることを喜び、どの子も毎時間意欲的に練習している。また、作品を仕上げるという満足感があり、友達の作品の上手なところを素直に認めようとしている。

硬筆学習では、毛筆学習を生かし、漢字を一文字ずつ丁寧に書こうとしている。しかし、漢字と平仮名の交じている文では、平仮名にあまり注意を払わず、やや粗雑な書き方をする子がいる。

5 指導について

毛筆題材では次のように学習を進めている。まず、点画の入り方や終わり方を確認し、正しい筆順で空書きをしたり、手本を指でなぞったりしてから試し書きをする。その後で、難しい筆使いについて話し合い、毛筆用の練習用紙で一画ごとにポイントを絞って練習する。その際、「トン」「スー」「キュッ」「ポキッ」などと声に出して筆使いをイメージしながら書く。手本のように書くにはどうしたらよいかを意識しながら練習し、作品を仕上げる。毛筆学習の入門期ということで、手本にそって繰り返し練習することを中心に進めてきた。

本単元では、平仮名への関心を高め、漢字と比較することで平仮名の特徴をとらえさせたい。また、一人ひとりの目当てを意識させながら書かせたいと考える。そこで、第1時では、いくつかの漢字と平仮名を提示し、平仮名の特徴に気づかせる。そしてそれらの特徴を意識させながら自分の名前を平仮名で自由に書かせ、平仮名への関心を高めたい。第2時では、漢字のように書いた「にじ」と比べさせ、平仮名の柔らかさや丸みを出すためにどのような筆使いをしたらよいかを理解させる。「かるくトン」「ふんわり」「つづけて」と声に出したり、筆脈に注意したりしながら練習させたい。第3時では、前時の作品を手本と比べ、特に気を付けたい所を意識して練習できるようにしたい。そのためにポイントを3つに絞り、練習用紙を選んで書けるようにする。

硬筆学習では、毛筆の学習を生かし、平仮名の書き方の基本を確かめながら、正しく丁寧に書かせたい。漢字だけでなく平仮名にも注意することで、より整った文章になり、読みやすくなることを感じ取らせたい。

6 指導計画（4時間配当）

時	学習内容	ねらい	関知	評価規準
1	<ul style="list-style-type: none"> 漢字と平仮名を比べる。 自分の名前を平仮名で書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名に関心を持つ。 平仮名の特徴に気づく。 	◎	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名に関心を持ち、漢字との違いを見つけたり、進んで自分の名前を書いたりする。(発言・観察)
2	<ul style="list-style-type: none"> 「にじ」のよい書き方と悪い書き方を比べ、平仮名の筆使いを知る。 練習用紙で練習する。 まとめ書きをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名の柔らかさや丸みを表現する筆使いを理解し、それらを意識して練習する。 	○ ◎	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名の特徴に気づき、それらをつかんで練習することができる。(観察・作品)
3 本時	<ul style="list-style-type: none"> 特に気をつけたい所を見つける。 練習用紙を選んで練習する。 清書をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 手本と比べ、特に気を付ける所を見つける。 始筆や丸み、柔らかさの練習をする。 	○ ◎	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名の筆使いの特徴に気を付けて進んで練習することができる。(観察・作品)
4	<ul style="list-style-type: none"> 毛筆の学習を生かして硬筆で書く。 文字の大きさと中心に気を付けて文章を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名の書き方に気を付けて硬筆で書く。 文字の大きさと中心に気を付けることを理解する。 	○ ◎	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名の正しい書き方で丁寧な書くことができる。 文字の大きさと中心に気を付けて書くことができる。(観察・書き方ノート)

7 本時の目標

平仮名の筆使いに気を付けて「にじ」を書くことができる。

8 準備物

前時のまとめ書き、手本、練習用紙

9 本時の学習過程

学習活動	支援（・）と評価（☆）
<p>○本時のねらいを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>平仮名の筆使いに気を付けて「にじ」を書こう。</p> </div> <p>○前時のまとめ書きと手本を比べ、特に気をつけたい所を見つける。</p> <p>①「に」の1画目・・・入り方、丸み</p> <p>②「に」の2画めと3画目・・・続くように</p> <p>③「じ」の1画目・・・入り方、曲がり</p> <p>○自分の目当てにそって、練習用紙を選んで書く。</p> <p>○清書をする。</p> <p>○自分のよくなった所や、友達のよい所を伝え合う。</p> <p>○次時の学習について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「にじ」の良い書き方と悪い書き方を示し、平仮名の筆使いについて確かめる。 一人ひとりの字に合わせた目当てを考えればよいことを助言する。 目当てを考えるのが難しい子には、特に気をつけたい点を一緒に考える。 机間指導で、手を添えて練習したり、言葉をかけたりする。 書く姿勢に注意を促す。 ☆ 特に気をつけたい所を意識し、進んで練習しているか。(観察・作品) 良くなっていることや、努力していることを認め、励ます。